



2024年に新設した荻田工場

- 本社所在地：福岡県北九州市小倉北区吉野町12番地16号
- 事業概要：段ボール製品製造業務
- 常時使用する従業員：132名
(2026年1月時点)
- 現在の売上高：21.8億円
(2025年10月期)
- 法人番号：9290801008188
- Web：
<https://www.nichiei-shiko.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
宮崎 勝裕

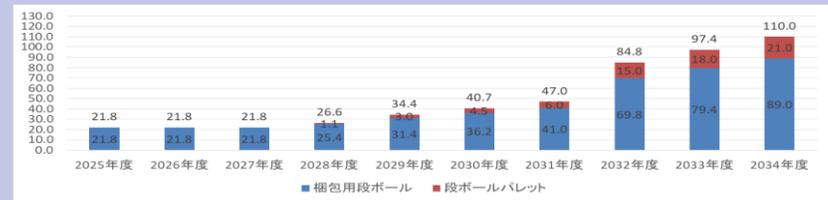
包装容器、資材を業務として自然保護、環境に優しくをモットーに社会に貢献してまいります。
品質の工場、改善、提案力を切磋してお客様のニーズにお応えし、信頼される企業づくりに努力してまいります。
良き社会人としての自覚のもと、常に新しき者に積極的に挑戦し、自由闊達な社風を目指します。

SDGsに則った資材製造を推進するとともに、社員のモチベーションを維持するための人を大切にする「正しい経営」を心がけ、グローバルな水準と高まる顧客のニーズを満たせる「持続可能な会社」を全社員で創る。社会情勢や市場環境の変化に適応した事業展開を推進するため、対応力・生産力強化に向けた市場開拓戦略、商品開発戦略の検討に取り組むとともに、社員が丸となり、IT投資や人材の最適配置による業務効率化、社内コミュニケーションの改善等の組織改革を進める。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年の売上高達成に向け、年率19.68%程度の成長を目指す。



課題

- ・段ボール梱包材需要は増加見込みだが、製造技術は属人的な部分もあり、技術承継及び生産効率強化が必要
- ・原材料や物流コスト高騰によって原価率が上昇しても価格に転嫁しにくく、利益が減少しつつある。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・最新設備の導入による生産効率化
- ・新規取引候補企業からの試作受注に対応して取引先開拓
- ・最先端設備導入によって製造技術の属人性を低下させ、技術承継の簡略化
- ・顧客工場と近隣の立地で新規生産拠点を整備、顧客との結びつきを強化し、販路開拓を実現
- ・生産実績を増やし、蓄積した生産データやノウハウを経営資源として安定した生産基盤を構築

実施体制

- ・新規設備の導入(2027年内に新規段ボール打ち抜き機と3Dスキャン設備を導入予定)による生産効率化を実現し、製造原価を低減し、利幅を最大化
- ・営業人員強化による新規開拓に加え、既存顧客を通じた顧客開拓
- ・現社員の再配置を行い、技術・知識の承継体制確立

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです